

設立から100年以上の歴史

Caterpillar社は1世紀以上にわたり、より優れた、より持続可能な世界の構築に貢献してきました。2025年には\$676億ドルの売上および収益を記録しました。Caterpillar社は、建設およびマイニング用機器、オフロード用ディーゼルおよび天然ガスエンジン、産業用ガスタービン、ディーゼル電気機関車などの製造において、世界をリードする企業として、未来を形作っています。

日本においては、1960年に油圧ショベルを初めて国産化した三菱重工業(明石製作所)と合併関係を結び、1963年より事業を開始。

キャタピラーグループの重要拠点として、主力製品である油圧ショベルの開発・生産をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界に発信しています

日本の“ものづくり”の力で、世界を動かす 卓越した技術と製品を届けて65年

横浜オフィス(本社):国内で販売する全てのCAT®製品のマーケティング機能と小型製品の開発拠点

明石事業所: CAT油圧ショベルの世界唯一の開発拠点「油圧ショベル開発本部(HEDC)」
そして、30万台以上の累計生産台数を誇るマザープラント

日本においてキャタピラーは、小型製品の開発、油圧ショベルの開発・生産拠点を構え、国内サプライヤーと一体となったモノづくりを通して、世界100か国以上へ製品・技術を送り出しています。

- キャタピラー社が世界に展開する8カ所の小型製品拠点の中で最重要拠点として、ミニ・小型系の油圧ショベルやホイールローダ、スキッドステアローダなどを企画・設計・開発
- 油圧ショベルの心臓部ともいえるコントロールバルブなどの主要コンポーネントから骨格を構成する板金構造物等も自社生産するとともに、日本のサプライヤー企業約200社とパートナーシップを構築し、油圧ショベルを一貫生産
- ものづくりを通して地域社会との絆を深め、日本の産業発展に貢献



CATERPILLAR®

CATERPILLAR FACT SHEET 2026

■ 主な国内拠点

横浜オフィス(本社)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1 OCEAN GATE MINATO MIRAI 12階
Tel (045) 682-3800

明石事業所/油圧ショベル開発本部

〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水1106-4
Tel (078)943-2911

■ 主な販売・レンタル網

日本キャタピラー合同会社、四国機器株式会社、四国建販株式会社、キャタピラー九州株式会社

■ 創立 1634年(昭和38年)11月4日

■ 代表執行役員 Justin Speichinger、田中美紀、比留間茂、本田博人、Joe Moscato、Christine Young

■ 日本におけるキャタピラーの歴史

- 1963 キャタピラー三菱設立
- 1965 CAT D4Dブルドーザ国産第一号機完成
- 1986 新キャタピラー三菱発足に先立ち、油圧ショベル開発センターを開設
- 1987 キャタピラー三菱、明石製作所の後身と合併し、新キャタピラー三菱としてスタート
- 1990 相模・明石両事業所を設立
- 1992 世界統一仕様のCAT300ファミリー油圧ショベル「REGA」シリーズを発表
- 2008 キャタピラー・ジャパンに社名変更
- 2012 キャタピラー・ジャパンが100% Caterpillarの日本法人になる
- 2017 デジタル接続を標準搭載した業界初の次世代油圧ショベルを明石より出荷
- 2018 新型油圧ショベル Cat 320・Cat 320 GC・Cat 323がグッドデザイン賞を受賞
- 2019 キャタピラーSTEM賞を設立
- 2022 明石事業所、油圧ショベル生産台数500,000台を達成
- 2023 キャタピラー日本で事業開始60周年

■ キャタピラー概要(2026年)

連結売上高	\$67.6B	販売店数	152
米国以外の売上比率	53%	ビジネス展開国数	140カ国
世界中で稼働しているマシン数	400万台強	グローバル総従業員数	112,900

CONSTRUCTION INDUSTRIES



建設機械の販売・顧客支援

RESOURCE INDUSTRIES



鉱山・重機の自動化支援

POWER & ENERGY



エネルギー・発電技術支援